

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年4月29日				
環境・体制整備		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令で定められているスペースを確保しています 一つ一つの部屋が区切られているので、勉強部屋を活用すると、子どもたち一人一人の声を聞きやすい	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	法令で定められている配置数に加え、子ども1名に対して、職員が1名つけられるように努力しています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	用途に応じてカーテンで仕切って刺激を減らしたり、内装をシンプルにしています。事業所内外にスロープや手すりを設置し、トイレを広く設計する等、バリアフリー化を図っています。お子さんの状態に応じて、安全に利用できるように配慮しています	難癖を起した利用者さんがクールダウンできるような環境調整を行なっていけたらと思います
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日子どもたちが帰宅後、清掃やおもちゃ等の消毒を行い、環境整備を行っています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じて部屋の利用は可能としています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	活動終了後に職員間で1日の活動の振り返りを実施しています。良かった点・改善点等を話し合い、日々の活動を充実できるように心がけています。・月に1度のペースで非常勤スタッフも参加する合同ミーティングを実施し、目標の確認・振り返りに努めています。定期的な会議やケース会議にて職員の意見を聞く機会を設けている。ミーティング等で常勤非常勤問わず利用者の支援方針を共有しています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者の方への満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。利用者の方目線で事業を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的なミーティングにより意見交換している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%	保護者の方や事業所内での意見交換の場を設けている	現在は、利用者・事業所の二者評価で業務改善を行っており、第三者による外部評価については、実施していません。今後必要に応じて実施を検討していきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	外部機関での研修に職員が積極的に参加できるよう体制を整えています。月に1度、施設内での内部研修を実施、常勤・非常勤職員が参加できるよう取り組んでいます	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	毎月広報誌により公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	聞き取りに関しては、保護者の方と必要に応じての面談と6ヶ月に1度の定期的な面談を行っています。また、白々の子ども達の様子からも課題を考え、個別支援計画を作成させていただいています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児童発達支援計画を作成する際には、保護者との面談を行い、発達面・家庭での様子・幼稚園等での地域生活など様々な視点から課題を考えています	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	常勤職員だけでなく、非常勤職員にも児童発達支援計画が更新された際に周知し、内容の共有を行っています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	60%	40%	アセスメントを行う際に、聞き取りと必要に応じて領域に分けたアセスメントツールを使用し行うようにしています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	児童発達支援計画を作成する際に、保護者との面談を行い、発達面・家庭での様子・幼稚園等での地域生活など様々な視点から課題を考えています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	指導員・介護福祉士・保育士・臨床心理士・公認心理師等がそれぞれの立場・専門性を活かし、活動プログラムの立案を行っています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	工作・クッキング・買い物・感覚遊び等、毎月予定を組み、季節感を出したり、子どものリクエストに答える等して、プログラムが固定化しないよう心がけています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	長期目標・短期目標を設定する中に、子どもの状況に応じた、個別活動と集団活動を適宜組み合わせています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	60%	40%	支援開始前・終了後に職員間での打ち合わせ・1日の振り返りを実施し、情報の共有・支援の方向性等を話し合っています。	非常勤スタッフともっとコミュニケーションをとるべきとの意見がありましたので、より積極的にコミュニケーションをとっていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60%	40%	日報を作成し、その日の連絡事項を記入し、休みの職員との情報を共有しています。	出来ている時と、そうで無い日がある。ヒヤリハットがあったときには、その時の状況、今後の対応について振り返っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎回、実施記録を取り、保護者の方との連絡ツールにもさせて頂いております。見返すことにより、支援の検証・改善に繋がっています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	保護者の方と必要に応じての面談と6ヶ月に1度の定期的な面談を行っています。また、日々の子どもの様子からも課題を考え、個別支援計画を作成させていただいています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	サービス担当者会議の場には、管理者・保育士・臨床心理士・公認心理師等の専門性を持った職員がケースに応じて必ず出席しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	公的専門機関の研修に参加したり、助言を頂くなど、連携させていただいています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	幼稚園や学校との情報共有を行っています目標や課題の共有・アセスメント結果の共有等、様々な形で連携できるよう、保護者の方の協力の元、実施しています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	当施設の利用開始年齢やケース内容などを鑑み、必要に応じて連携させていただいております。現状としては、就学前に通所していた公的機関との連携が中心になっております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	60%	40%	公的専門機関の研修に参加したり、助言を頂くなど、連携させていただいています	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		現在、交流は行っていません。保護者の方の中には、交流を望まない意見もあり、心情を汲み取りながら、対応していきたいと思っています
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々の活動記録は連絡ノートとして、また、日々の送迎時や必要な時は電話をかけ、保護者の方との情報共有をおこなっていますその中で、ご家庭・学校での出来事などの情報を共有し、必要に応じて面談し、解決に向けて支援を行っています	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	支援内容、利用負担額、運営規定の内容は見学時・契約時にご説明させていただいております。また運営規定については、施設内入り口に置いてあり、いつでもご確認いただけるようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	面談にて保護者やこどもの意見を聞く機会を確保している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	契約時に児童発達支援ガイドラインを提示し、内容の確認をし、同意をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	連絡ノート・日々の送迎時・電話・面談等で様々な相談を受けております。必要に応じて、幼稚園・小学校・中学校・高校などに出向き、地域支援に繋がっています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	ははの会は年に数回、開催しています。	コロナ禍中は、父の会を自粛していましたが、段階的に再開できればと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	日々、連絡ノート・電話・面談等で様々な相談を受けております。必要に応じて、幼稚園・小学校・中学校・高校などに出向き、地域支援に繋がっています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	80%	20%	毎月、会報誌を発行し、活動概要・活動予定・連絡事項をご案内させていただいております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報使用同意書・重要事項説明書に記載してある守秘義務を順守しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	40%	60%	視覚的にわかりやすい表情カードの提示、掲示物などで工夫したり、1日のスケジュールが必要なお子さんに対しては、個人的に用意しております。保護者の方には連絡ノートで対応しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		現在、行っていない。保護者の方の中には、交流を望まない意見もあり、心情を汲み取りながら、対応していきたいと思っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルは策定されており、事務所に保管しております。緊急対応・防犯・感染症対応をテーマに職員研修を継続して行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	職員会議で、定期的に避難経路の確認や救出のための方法の確認等行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に保護者の方から伺っています。対応策は、保護者の方と協議しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時または面談時にアレルギーについて保護者の方から伺っています。対応策は、保護者の方と協議しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職員会議で、定期的に避難経路の確認や救出のための方法の確認等行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	とく取り組みについて、会報誌やブログで情報発信している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	80%	20%	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	人権保護の研修会に職員が参加し、施設内研修に繋げ、全職員で虐待防止に繋がっています。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		現在、契約の際に、保護者の方には説明をしますが、身体拘束を必要とするケースが無いので、計画に記載はしていません。必要がある場合は直々に話して職員、保護者が何度も話し合い、内容を決定し、了解を得た上で、計画書に記載します。その後も状態を把握し、内容を更新していく事としています。
--	----	--	------	----	--	--